

令和2年度に使用する広島市立中学校用教科用図書
（「特別の教科 道徳」を除く）の採択について（答申）

教科 [保健体育] 種目 [保健体育]

令和2年度に使用する中学校用教科用図書の採択について

教科 [保健体育] 種目 [保健体育]

1 本市の実態や生徒の状況

- 本市は、各区にスポーツセンターが設置されているとともに、全国大会を開催することができる陸上競技場や体育館等の施設が、充実している地域である。また、プロをはじめ、トップレベルのスポーツチームが数多くあり、優れたプレーを間近に観戦できる地域である。
- 平成30年度の「全国体力・運動能力、運動習慣調査」によると、本市の生徒の体力の実態として、筋持久力、柔軟性、敏捷性などに改善が見られるが、筋力や全身持久力に課題が見られる。また、運動することが好きな生徒が多い一方、学習したことを実生活・実社会に生かそうとする生徒が少ないことが課題である。

2 調査・研究の観点と視点

| 観 点 | 視 点 |
|-----------------|---|
| <基礎・基本の定着> | ① 健やかな体の基礎となる身体能力と知識の定着を図るための工夫 ② 運動や健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫 |
| <主体的に学習に取り組む工夫> | ③ 学習意欲を高めるための工夫 ④ 実生活・実社会に関連づけるための工夫 |
| <内容の構成・配列・分量> | ⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量 ⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況 |
| <内容の表現・表記> | ⑦ 本文の記述と適切な関連がなされたイラスト・写真等の活用 ⑧ 文字の大きさや配色等の工夫 |
| <言語活動の充実> | ⑨ コミュニケーション能力や論理的思考力を高めるための工夫 |

3 各教科書の特徴

1 基礎・基本の定着

視点① 健やかな体の基礎となる身体能力と知識の定着を図るための工夫

- 習得すべき基本用語を「キーワード」として各小単元の左上に示すとともに、本文中に太文字で強調している。
- 説明が必要な本文の用語に、丸番号のルビを振り、見開き両端にその説明を掲載している。
- 各章末に知識の習得を確認する「確認の問題」と知識を活用して考える「活用の問題」で、2段階の問題を示している。また、「学習を振り返ろう」で、知識の定着状況を自己評価できるようにしている。
- 大単元「運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全」の章末資料で、体力の要素を体力を高める運動例と、行う目安との関係で示している。

視点② 運動や健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫

- 「リンク」マークを付し、関連する学習内容が、他のページにあることを示している。
- 「保健体育クイズ」で、学習内容に関連した情報をクイズ形式で示している。
- 「ポイント」マークを付し、資料やグラフを読み取る際の観点を示している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 学習意欲を高めるための工夫

- 各章の冒頭の「この章で学習すること」で、小単元の目次や主な学習内容を示している。
- 「読み物」で、本文で学習する内容に関連した話題や読み物資料を24ヶ所に示している。

視点④ 実生活・実社会に関連づけるための工夫

- 「心肺蘇生法の方法」「交通環境調べ」など、体験的な学習を実施するための実習資料を7ヶ所、調査資料を11ヶ所に示している。
- 小単元「自然災害による危険」で、地震の二次災害による土砂崩れを扱っている。
- 大単元「傷害の防止」の章末資料で、安全マップの作成の手順を示している。
- 小単元「応急手当の意義と心肺蘇生」の本文で、AEDの使用目的を説明し、章末の実習資料で、AEDの設置場所、AEDの使用手順を示している。
- 各章の最後の「日常生活に生かそう」で、学習した内容を日常生活に生かすことについて書く活動を示している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量

- 小単元を、2ページまたは4ページで構成し、学年ごとに章立てし、保健編と体育編の順で配列している。
- サイズ AB判 重さ 396g

視点⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 「章末資料」などで、「地球温暖化による健康への影響」「がんについてもっと知ろう」など、発展的な内容の資料を9ヶ所に示している。

4 内容の表現・表記

視点⑦ 本文の記述と適切な関連がなされたイラスト・写真等の活用

- 学習活動に応じて、「やってみよう」「考えてみよう」などのマークを付している。
- 小単元「運動やスポーツの学び方」の章末資料で、運動やスポーツの学び方を「運動やスポーツの基本的な正しい動き方を見つける」「課題を決め、合理的な練習計画を立てる」「実行した技術や戦術、表現がうまくできたか確認する」の3段階のイラストで示している。

視点⑧ 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、配色やレイアウトにしている。

5 言語活動の充実

視点⑨ コミュニケーション能力や論理的思考力を高めるための工夫

- 各単元の「考えてみよう」で、考えたことを書き出したり、説明したりする活動を示している。
- 「活用の問題」のコーナーで、事例を基に、運動や健康・安全に関する課題や解決方法をまとめる学習活動を示している。
- 巻頭の「保健体育の学習方法」で、「事例などを用いたディスカッション」「ブレインストーミング」「ロールプレイング」などの言語活動例を、イラストを交えて示している。

1 基礎・基本の定着

視点① 健やかな体の基礎となる身体能力と知識の定着を図るための工夫

- 習得すべき基本用語を「キーワード」として各小単元の右下に示すとともに、本文中に太文字で強調している。
- 説明が必要な本文の用語に、星印と数字のルビを振り、本文近くにその説明を掲載している。
- 各章末に「学習の要点」で、学習内容を整理して示している。
- 大単元「運動やスポーツが心身の発達にあたる効果と安全」の章末資料で、体力の要素を中学校で学習する運動との関係で示している。

視点② 運動や健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫

- 「リンク」マークを付し、関連する学習内容が、他のページにあることを示している。
- 「ミニ知識」で、学習内容に関連した情報を示している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 学習意欲を高めるための工夫

- 各章の冒頭の「この章で学習すること」で、学習内容に関連した問いや学習内容の構造図を示している。
- 「トピックス」「トピックス+ (プラス)」で、本文で学習する内容に関連した話題や読み物資料を45ヶ所に示している。

視点④ 実生活・実社会に関連づけるための工夫

- 「反応の確認から心肺蘇生法のしかた」など、体験的な学習を実施するための実習資料を6ヶ所、調査資料を8ヶ所に示している。
- 小単元「自然災害による傷害の防止」で、地震、台風、大雨の二次災害による土砂崩れを扱っている。
- 大単元「傷害の防止」の章末資料で、災害に備えておくための確認事項をチェックリスト形式で示している。
- 小単元「応急手当の基本」の「トピックス」で、AEDの設置場所、使用目的について示している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量

- 小単元を、2ページまたは4ページで構成し、体育編、保健編の順で配列している。(1小単元のみ6ページ)
- サイズ AB変形判 重さ 376g

視点⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 「資料」などで、「熱中症への対応と予防」「語り継がれるオリンピックエピソード」など、発展的な内容の資料を13ヶ所に示している。

4 内容の表現・表記

視点⑦ 本文の記述と適切な関連がなされたイラスト・写真等の活用

- 学習活動に応じて、「考えよう」「学習を生かして」などのマークを付している。
- 小単元「運動やスポーツの学び方」で、運動やスポーツの学び方を「目的に合わせて自分やチームの練習方法を定める」「練習計画を立てる」「よい動き方を見つけ、練習する」「練習したことがうまくできたかどうかを確かめる」の4段階の図で示している。

視点⑧ 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、配色やレイアウトにしている。

5 言語活動の充実

視点⑨ コミュニケーション能力や論理的思考力を高めるための工夫

- 各単元の「学習を活かして」で、考えたことをまとめたり、説明したりする活動を示している。

1 基礎・基本の定着

視点① 健やかな体の基礎となる身体能力と知識の定着を図るための工夫

- 習得すべき基本用語を「キーワード」として各小単元の左側に示し、本文中に太文字で強調している。
- 説明が必要な本文の用語に、丸番号のルビを振り、見開き両端にその説明を掲載している。
- 各章末に「学んだことを振り返ってみよう」で、知識の定着状況を自己評価できるようにしている。
- 小単元「運動やスポーツの体への効果」で、体力の要素を体づくり運動との関係で示すとともに、特設ページの「Challenge」で、運動の計画を立てる学習活動を示している。

視点② 運動や健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫

- 「参照ページ」マークを付し、関連する学習内容が、他のページにあることを示している。
- 「コラム」で、学習内容に関連した情報を示している。
- 吹き出しを付し、資料やグラフから読み取ることでできる科学的な知識を示している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 学習意欲を高めるための工夫

- 各章の冒頭で、小単元の項目や学習内容に関連する問いを示している。
- 「コラム」「事例」「Topic」で、本文で学習する内容に関連した話題や読み物資料を5ヶ所に示している。
- 脚注に、「URL」マークを付し、学習内容に関連したインターネットのページを紹介している。
- 小単元の冒頭の「Question」で、学習内容と生活経験を関係付けた問いを示している。

視点④ 実生活・実社会に関連づけるための工夫

- 「心肺蘇生法を練習してみよう」など、体験的な学習を実施するための実習資料を8ヶ所、調査資料を3ヶ所に示している。
- 小単元「自然災害への備えと避難」で、地震、集中豪雨の二次災害による土砂崩れを扱っている。
- 小単元「自然災害への備えと避難」の特設ページの「Challenge」で、防災計画を立てる学習活動を示している。
- 小単元「心肺蘇生法」の「コラム」で、AEDの設置場所、使用目的、種類を掲載するとともに、「実習」で、AEDの使用手順を実習課題として示している。
- 各章の最後の「学びを生かそう」で、学習した内容を日常生活にどのように生かすことができるかについて書く活動を示している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量

- 小単元を、2ページまたは4ページで構成し、体育編、保健編の順で配列している。
- サイズ B5判 重さ 332g

視点⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 「Challenge」「コラム」などで、「体力を高める運動の計画を考えよう」「地球温暖化」など、発展的な内容の資料を18ヶ所に示している。

4 内容の表現・表記

視点⑦ 本文の記述と適切な関連がなされたイラスト・写真等の活用

- 学習活動に応じて、「Question」「Try」などのマークを付している。
- 小単元「運動やスポーツの学び方」で、運動やスポーツの学び方を「目標や課題の設定」「よい動きの理解」「合理的な練習」「練習効果の確認」の4段階のイラストで示している。

視点⑧ 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、配色やレイアウトにしている。

5 言語活動の充実

視点⑨ コミュニケーション能力や論理的思考力を高めるための工夫

- 各単元の「Try」で、考えたことを書き出したり、話し合ったりする活動を示している。
- 「活用」のコーナーで、事例を基に、運動や健康・安全に関する課題や解決方法をまとめる学習活動を示している。
- 特設ページ「Challenge」で、事例を基に、運動や健康・安全に関する課題を明確にし、解決方法をまとめる学習活動を示している。
- 巻頭の「保健体育の学び方」で、「ブレインストーミング」「ディスカッション」などの言語活動例を、イラストを交えて示している。

1 基礎・基本の定着

視点① 健やかな体の基礎となる身体能力と知識の定着を図るための工夫

- 習得すべき基本用語を「キーワード」として各小単元の左上に示し、本文中に太文字で強調している。
- 説明が必要な本文の用語に、丸番号のルビを振り、各ページ右側にその説明を掲載している。
- 各章末に知識の習得を確認する「用語の確認 10」「基礎の完成」と知識を活用して考える「活用の問題」で、2段階の問題を示している。
- 大単元「スポーツの効果と安全」の特設ページの「探求しようよ!」で、体力の必要性を災害から身を守る力との関係で示すとともに、章末資料で、体力の測定とその活用例を示している。

視点② 運動や健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫

- 「関連」マークを付し、関連する学習内容が、他のページにあることを示している。
- 「情報サプリ」で、学習内容に関連した情報を示している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 学習意欲を高めるための工夫

- 各章の冒頭で、小単元の項目や、学習内容に関連した偉人の言葉や職業を示している。
- 「コラム」で、本文で学習する内容に関連した話題や読み物資料を 31ヶ所に示している。
- 脚注に、「リンク」マークを付し、学習内容に関連したインターネットのページを紹介している。

視点④ 実生活・実社会に関連づけるための工夫

- 「心肺蘇生法」「自然災害による被害調べ」など、体験的な学習を実施するための実習資料を 8ヶ所、調査資料を 34ヶ所に示している。
- 小単元「自然災害に備えて」で、地震の二次災害による土砂崩れを扱っている。
- 大単元「傷害の防止」の特設ページの「もっと広げる深める」で、災害が予測される際の行動について考える課題を示している。
- 小単元「応急手当の意義と基本」の「コラム」「発展」で、AED の設置場所、使用目的、使用手順を示している。
- 各章の最後の「生活への応用」で、学習した内容を日常生活に生かすことについて書く活動を示している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量

- 小単元を、2ページまたは4ページで構成し、保健編、体育編の順で配列している。
- サイズ B5判 重さ 442g

視点⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 「もっと広げる深める」などで、「熱中症の手当て」「人類と地球の未来のために」など、発展的な内容の資料を 13ヶ所に示している。

4 内容の表現・表記

視点⑦ 本文の記述と適切な関連がなされたイラスト・写真等の活用

- 学習活動に応じて、「ウォームアップ」「活用しよう」などのマークを付している。
- 小単元「スポーツの学び方」で、スポーツの学び方を「目標や計画を立てる」「計画に沿って練習する」「練習の成果を確かめる」「成果に応じて目標や計画を修正する」の4段階のイラストで示している。

視点⑧ 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、配色やレイアウトにしている。
- 各単元の「活用しよう」で、考えたことをまとめたり、話し合ったりする活動を示している。

5 言語活動の充実

視点⑨ コミュニケーション能力や論理的思考力を高めるための工夫

- 各単元の「活用しよう」で、考えたことをまとめたり、話し合ったりする活動を示している。
- 「活用の問題」のコーナーで、事例を基に、運動や健康・安全に関する課題や解決方法をまとめる学習活動を示している。
- 特設ページ「もっと広げる深める」で、実習などの経験を基に話し合い、解決方法をまとめる学習活動を示している。

4 意見

意見1 大修館書店の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

大修館書店の教科書の特徴である、小単元「運動やスポーツの体への効果」で、体力の要素を体づくり運動との関係で示すとともに、特設ページで、運動の計画を立てる学習活動を示していること、小単元の冒頭で、学習内容と生活経験を関係付けた問いを示していること、各章の最後の「学びを生かそう」で、学習した内容を日常生活にどのように生かすことができるかについて書く活動を示していること、コーナーや特設ページを設け、事例を基に、運動や健康・安全に関する課題を明確にし、解決方法をまとめる学習活動を示していること、巻頭で「ブレインストーミング」「ディスカッション」などの言語活動例を、イラストを交えて示していることは、思考力、判断力、表現力の育成を目指すひろしま型カリキュラムを推進している本市の取組や、筋力、全身持久力が十分でないという課題、学習したことを実生活・実社会に生かそうとすることが少ないという課題がある本市の生徒の状況により対応することができるものである。

本教科書について、広島市教科用図書採択審議会調査員が作成した調査・研究報告書を基に審議した結果、小単元「運動やスポーツの体への効果」で、体力の要素を体づくり運動との関係で示すとともに、特設ページ「Challenge」で、図や事例を用いて体づくり運動の計画作成・実践・振り返りまで行う学習活動を設定するなど、学習したことを実生活・実社会に生かせるよう工夫しているという特徴もあり、本市で使用する教科書としてよりふさわしいと考えられる。

なお、本教科書は、平成27年度に採択し、平成28年度から平成31年度まで全市立中学校において使用しているが、特段の問題はない。

意見2 学研教育みらいの教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

学研教育みらいの教科書の特徴である、大単元「スポーツの効果と安全」の特設ページで、体力の必要性を災害から身を守る力との関係で示すとともに、章末資料で、体力の測定とその活用例を示していること、各章の最後の「生活への応用」で、学習した内容を日常生活にどのように生かすことができるかについて書く活動を示していること、コーナーや特設ページを設け、事例や実習などの経験を基に話し合い、解決方法をまとめる学習活動を示していることは、思考力、判断力、表現力の育成を目指すひろしま型カリキュラムを推進している本市の取組や、筋力、全身持久力が十分でないという課題、学習したことを実生活・実社会に生かそうとすることが少ないという課題がある本市の生徒の状況に対応することができるものである。

令和2年度に使用する広島市立中学校用教科用図書
（「特別の教科 道徳」を除く）の採択について（答申）

教科 [技術・家庭] 種目 [技術分野]

令和2年度に使用する中学校用教科用図書の採択について

教科 [技術・家庭] 種目 [技術分野]

1 本市の実態や生徒の状況

- 本市は、鉄道や都市高速道路などの交通網が発達し、大型商業施設が誘致され、自動車産業や重工業に関連した多くの工場が立地する中国地方の経済・産業の拠点となっている地域である。
- 生徒は、都市型の生活環境にあつて、世の中の技術に触れる機会が多く、技術分野の学習に関心は高いが、ものづくり体験や生活体験が少ないため、創意・工夫する力、他者とかかわる力や知的財産を尊重する態度、安全・リスクの問題も含めた技術と社会・環境との関係について理解する力などに課題がある。

2 調査・研究の観点と視点

| 観 点 | 視 点 |
|-----------------|--|
| <基礎・基本の定着> | ① 基礎的・基本的な知識と技術の定着を図る工夫 ② 伝統と文化に関する内容の記述 |
| <主体的に学習に取り組む工夫> | ③ 学習意欲を高めるための工夫 ④ 問題解決的な学習を実施するための工夫 |
| <内容の構成・配列・分量> | ⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量 ⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況 |
| <内容の表現・表記> | ⑦ 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用 ⑧ 文字の大きさや配色等の工夫 |
| <言語活動の充実> | ⑨ 言葉や図表を用いて考え説明したり、実習等の結果を整理し考察したりする学習活動の工夫 |

3 各教科書の特徴

1 基礎・基本の定着

視点① 基礎的・基本的な知識と技術の定着を図る工夫

- 学習内容と到達度を確認するため、学習指導要領で示された「内容」A材料と加工、Bエネルギー変換、C生物育成、D情報ごとの「学習のまとめ」に、「学習をふり返ろう」で自己評価を、「学習したことを確かめよう」で評価問題を設けている。また、「大切な用語」をまとめた一覧を付している。
- 木材・金属・プラスチックの加工に関する基礎的な技能を、「基礎技能」としてまとめて示している。
- 各「内容」の導入部に、学習の内容と流れを具体例とともに写真や吹き出しで示している。
- 節ごとに、見出しの下に「目標」を示し、自己評価できるようにチェック欄を設けている。

視点② 伝統と文化に関する内容の記述

- 「伝統・文化」のマークを付し、薬師寺金堂や熊本城など歴史的建造物を再建した伝統技術や伝承してきた技術者のメッセージを、写真やイラストなどを掲載して紹介している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 学習意欲を高めるための工夫

- ガイドンスのページを「技術は夢をかなえるためにある」「技術は未来を創る」「これからの学習を見てみよう」の3つのテーマで構成し、見通しをもって学習に取り組めるようにしている。
- 「資料」のコーナーを設け、学習内容とかかわりのある話題を掲載している。
- 目的意識や課題意識をもたせるよう、各節のはじめに、「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合おう」「やってみよう」の欄を設けている。
- 「内容」ごとの「学習のまとめ」と各節の最後のまとめに、「生活に生かそう」を設けている。

視点④ 問題解決的な学習を実施するための工夫

- 「実験」、「観察」のコーナーを設け、実践的・体験的な活動を示している。
- ものづくりをしながら問題解決能力を育成できるよう、各「内容」のものづくりである製作、デジタル作品の制作、植物を栽培する育成の場面で、計画、実行、評価、改善（PDCAサイクル）の流れを示している。
- 実習例に問題解決の流れを示すとともに、「問題の発見」を示し、問題例から実習が行われるようにしている。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量

- ガイドンス→A材料と加工→Bエネルギー変換→C生物育成→D情報の順に配列している。
- これからの技術のあり方やかわり方を考える「技術分野の学習を終えて」を学習の最後に位置付けている。
- 実習例を、A材料と加工9、Bエネルギー変換6、C生物育成11、D情報8、計34示している。
- A材料と加工に関する技術では、材料と加工法、製作品の設計を学習した後、製作品を製作するよう配列している。
- サイズ AB判 重さ 646g

視点⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 発展的内容としてLEDの仕組みの説明や暗くなると自動的に点灯する回路などの実習例を4つ掲載している。
- 生徒の興味・関心に応じて扱えるよう、脚注に「ひとくち Q&A」を設けている。

4 内容の表現・表記

視点⑦ 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用

- 電気回路では、回路図と写真を対比して示している。
- 実習を安全に行う上で、気を付けなければならないことを、四角囲みに安全マークを付して示している。
- 基本的な作業や工具の使い方の説明に、作業中の生徒の視線に近いアングルで撮影した写真を付している。
- 「実習例」「基礎技能」のページの爪を、右ページの小口に設けている。

視点⑧ 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、判読しやすい配色やレイアウトにしている。

5 言語活動の充実**視点⑨ 言葉や図表を用いて考え説明したり、実習等の結果を整理し考察したりする学習活動の工夫**

- 「デジタル作品の設計・制作」で、プレゼンテーションの制作と発表を行う言語活動例を示している。
- 各「内容」で、製作工程表や育成計画の例、ワークシート例、アイデア申請書などを示している。
- 各「内容」に関する技術を評価し、その活用方法を理由を示して書く活動を設けている。
- 「話し合ってみよう」のコーナーを設け、話し合う言語活動例を設定している。

1 基礎・基本の定着

視点① 基礎的・基本的な知識と技術の定着を図る工夫

- 学習内容と到達度を確認するため、学習指導要領で示された「内容」A材料と加工、Bエネルギー変換、C生物育成、D情報ごとの「まとめ」に、学習内容のまとめを示すとともに、「章末問題」を設けている。
- 木材の加工に関する基礎的な技能を、題材「正確につくるボックス棚」の製作過程に沿って「基礎技能」として示している。

視点② 伝統と文化に関する内容の記述

- 「木材が支える文化と伝統」で、樽や神輿など伝統的な木工製品を製作する伝統技術を紹介している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 学習意欲を高めるための工夫

- ガイダンスのページを、「技術」という語から連想される6つの項目と、「技術分野で何を学ぶか」で構成し、見通しをもって学習に取り組めるようにしている。
- 「資料」、「コラム」のコーナーを設け、学習内容とかわりのある話題を掲載している。

視点④ 問題解決的な学習を実施するための工夫

- 「考えよう」、「調べよう」、「やってみよう」、「実験」のコーナーを設け、実践的・体験的な活動を示している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量

- ガイダンス→A材料と加工→Bエネルギー変換→C生物育成→D情報の順に配列している。
- 実習例を、A材料と加工8、Bエネルギー変換5、C生物育成7、D情報2、計22示している。
- A材料と加工に関する技術では、製作品の製作後に、材料と加工法、製作品の設計を学習し、さらに工夫した製作をするよう配列している。
- サイズ B5判 重さ 538g

視点⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 発展的内容としてLEDの仕組みの説明やライントレースカーの製作などの実習例を3つ掲載している。

4 内容の表現・表記

視点⑦ 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用

- 電気回路では、回路図と写真を対比して示している。
- 実習を安全に行う上で、気を付けなければならないことを、注意マークを付して示している。

視点⑧ 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、判読しやすい配色やレイアウトにしている。

5 言語活動の充実

視点⑨ 言葉や図表を用いて考え説明したり、実習等の結果を整理し考察したりする学習活動の工夫

- 「デジタルものづくり」で、プレゼンテーションの制作と発表を行う言語活動例を示している。
- 各「内容」で、アイデアシートや育成計画表の例、評価シート例を示している。
- 設計では、自分が設計した内容を伝えるため、第三角法による正投影図に表す活動を設けている。

1 基礎・基本の定着

視点① 基礎的・基本的な知識と技術の定着を図る工夫

- 学習内容のふり返りができるように、学習指導要領で示された「内容」A材料と加工、Bエネルギー変換、C生物育成、D情報ごとの「学習のまとめ」に、自己評価ができる「学習をふり返ろう」を設けている。
- 木材・金属・プラスチックの加工に関する基礎的な技能を、「木材による製作」と「金属・プラスチックによる製作」に分けて、製作過程に沿って示している。
- 各「内容」の導入部に、学習の流れと学習内容に関する技術の歴史を年表で示している。
- 節ごとに、見出しの横に「学習の目標」を示している。
- 基礎技能の定着を図るため、加工方法ごとに「学習の目標」を示している。
- 「ガイダンス」に、4つの「内容」を示し、「小学校での学び」「技術分野での学び」を付し、小学校と中学校の学習のかかわりを説明している。

視点② 伝統と文化に関する内容の記述

- 「今も生きる先人の技術」、「活躍している日本の伝統技術」で、法隆寺の五重塔の構造や陶磁器を製作する技術などを、写真やイラストなどを掲載して紹介している。
- 各「内容」の導入部の「技術の歴史」で、伝統技術を紹介している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 学習意欲を高めるための工夫

- ガイダンスのページを、「技術分野で学ぶこと」「技術を見つけよう」「技術とわたしたちの生活」「学習の見通しをもとう」の4つのテーマで構成し、見通しをもって学習に取り組めるようにしている。また、3年間の目標を記述する欄を設けている。
- 「参考」のコーナーを設け、学習内容とかかわりのある話題を掲載している。
- 目的意識や課題意識をもたせるよう、各節のはじめに、「考えてみよう」「調べてみよう」「思い出してみよう」「話し合ってみよう」「観察してみよう」の欄を設けている。
- 「内容」ごとの「学習のまとめ」に「生活に生かそう」を設けている。

視点④ 問題解決的な学習を実施するための工夫

- 「?」、「実験」のコーナーを設け、実践的・体験的な活動を示している。
- ものづくりをしながら問題解決能力を育成できるように、ガイダンスの「学習の進め方と作業の安全」と製作の場面で、計画、実行、評価、改善（PDCAサイクル）の流れを、具体例を付して示している。
- 実習例に「工夫してみよう」を示し、考えながら実習が行われるようにしている。
- 「材料と加工に関する技術の評価・活用」に、飲料の缶とペットボトルの製造技術について調べる学習を設けている。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量

- ガイダンス→A材料と加工→Bエネルギー変換→C生物育成→D情報の順に配列している。
- これからの技術のあり方やかかわり方を考える「進んで技術の評価し生活をよりよくする」を学習の最後に位置付けている。
- 実習例を、A材料と加工8、Bエネルギー変換6、C生物育成10、D情報6、計30示している。
- A材料と加工に関する技術では、材料と加工法、製作品の設計を学習した後、製作品を製作するよう配列している。
- 作物の栽培では、収穫後の土や資材が環境に与える影響について考える「収穫後の管理」の学習を設けている。
- サイズ B5判 重さ 472g

視点⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 発展的内容としてLEDの仕組みの説明や電源を切り替えることができるLEDライトなどの実習例を4つ掲載している。
- 生徒の興味・関心に応じて扱えるよう、脚注に「豆知識」を設けている。

4 内容の表現・表記

視点⑦ 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用

- 電気回路では、回路図と写真を対比して示している。
- 実習を安全に行う上で、気を付けなければならないことを、安全マークを付して示している。
- 基本的な作業や工具の使い方の説明に、作業中の生徒の視線に近いアングルで撮影した写真を付している。
- 学習内容が分かる写真を記した爪見出しを、奇数ページ右上に設けている。
- 栽培の実習例では、細かな作業がわかるよう、すべての作業場面をイラストで示している。

視点⑧ 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、判読しやすい配色やレイアウトにしている。

5 言語活動の充実**視点⑨ 言葉や図表を用いて考え説明したり、実習等の結果を整理し考察したりする学習活動の工夫**

- 「デジタル作品の設計と制作」で、プレゼンテーションの制作と発表を行う言語活動例を示している。
- 各「内容」で、製作工程表や育成計画表の例、構想用紙、評価・活用を考えるワークシートの例などを示している。
- 設計では、自分が設計した内容を伝えるため、第三角法による正投影図や表題欄、部品表を設けた図面に表す活動を設けている。
- 各「内容」に関する技術を評価し、その活用方法を理由を示して書く活動を設けている。
- 木材による製作では、お互いの製作品を評価し合う言語活動例を設けている。
- 情報セキュリティと情報モラルに関する学習では、すべての節の導入部に課題として「話し合ってみよう」を設定している。

4 意見

意見1 開隆堂出版の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

開隆堂出版の教科書の特徴である、ものづくりをしながら問題解決能力を育成できるよう、ガイドランスの「学習の進め方と作業の安全」と製作の場面で、計画、実行、評価、改善の流れを、具体例を付して示していること、「材料と加工に関する技術の評価・活用」を学習する際、飲料の缶とペットボトルの製造技術について調べる学習を設けていること、各「内容」に関する技術の評価し、その活用方法について理由を示して書く活動を設けていること、木材による製作では、お互いの製作品を評価し合う言語活動例を設けていること、情報セキュリティと情報モラルに関する学習では、すべての節の導入部に課題として話し合う活動を設定していることは、思考力、判断力、表現力の育成を目指すひろしま型カリキュラムを推進している本市の取組や、創意・工夫する力、他者とかかわる力や知的財産を尊重する態度、安全・リスクの問題も含めた技術と社会・環境との関係について理解する力などに課題がある本市生徒の状況により対応することができるものである。

本教科書について、広島市教科用図書採択審議会調査員が作成した調査・研究報告書を基に審議した結果、各「内容」の実習例に、「工夫してみよう」の欄を設け、創意・工夫するポイントを示し、より課題に応じたものとなるよう促すとともに、「進んで技術の評価し生活をよりよくする」を巻末に設け、これからの技術のあり方やかわり方について、社会的、環境的、経済的側面の各視点を踏まえて考えることができるよう工夫している特徴もあり、本市で使用する教科書としてよりふさわしいと考えられる。

なお、本教科書は、平成27年度に採択し、平成28年度から平成31年度まで全市立中学校において使用しているが、特段の問題はない。

意見2 東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

東京書籍の教科書の特徴である、ものづくりをしながら問題解決能力を育成できるよう、各「内容」のものづくりである製作、デジタル作品の制作、植物を栽培する育成の場面で、計画、実行、評価、改善の流れを示していること、各「内容」に関する技術の評価し、その活用方法について理由を示して書く活動を設けていること、特設のコーナーで話し合う言語活動例を設定していることは、思考力、判断力、表現力の育成を目指すひろしま型カリキュラムを推進している本市の取組や、創意・工夫する力、他者とかかわる力や知的財産を尊重する態度、安全・リスクの問題も含めた技術と社会・環境との関係について理解する力などに課題がある本市生徒の状況に対応することができるものである。